株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

公告方法 日本経済新聞

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号

みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号

みずほ信託銀行株式会社

本店証券代行部

お問い合せ先・郵便物送付先 〒135-8722

東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社証券代行部

電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)

同取次所 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店

みずほインベスターズ証券株式会社

本店及び全国各支店

決算情報のご案内

決算情報は、当社のホームページに掲載しております。

http://www.sysken.co.jp/



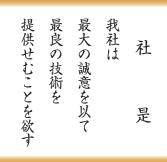
本社

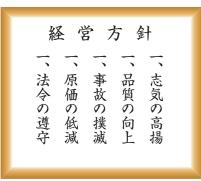
〒862-0976 熊本市九品寺三丁目15番7号 電話 096-372-1111(代表) FAX 096-373-0127





SYSKEN 企業理念





経営ビジョン

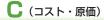
「創業50年を機にいままでのやり方を脱皮して

どこにも負けない【SYSKENブランド】を創ろう」

【SYSKENブランド】とは下記のとおりの企業価値のことであります。

(クオリティ・品質)

最新の技術力を素早く確保し、どこにも負けない優良でお客様が満足する 製品を提供する



徹底した効率化で裏づけされたコストにより収益の最大化を図る

□ (デリバリー・納期)

納期を遵守することでお客様に迷惑をかけないサービスを提供する

(モラル・倫理)

社員教育により法令を遵守する

S(セーフティ・安全)

人身事故・設備事故・交通事故の撲滅を図る

SYSKENチャレンジ50











SYSKENブランドの創造

株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清栄のことと拝察申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り有難く厚くお礼申し上げます。

さて、当社第54期(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)を終了いたしましたので、

ここに営業の概況及び決算につきましてご報告申し上げます。

今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年6月



代表取締役社長
赤星
敦

◆当社グループの営業の経過及び成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、消費に弱さがみ られるものの、企業収益が堅調であり、設備投資の増加に 支えられ、引き続き穏やかな回復基調で推移しております。 当社グループ関連の情報通信分野では、ユビキタスネッ トワーク社会の形成に向け、光アクセスサービスを主体と した光IP電話への移行や携帯電話サービスの多様化・高度 化、また通信と放送の融合化進展により市場は急激に変化 しております。

また、当社グループの主たる取引先である西日本電信電 話株式会社(NTT西日本)では、ブロードバンド・ユビキ タス環境の実現に向け、ネットワークの光化・IP化及び光 アクセス網の充実に取り組まれ、フレッツ光のお客様純増 数を昨年度より20万増の140万で計画され進められてお ります。

このような状況の中、当社グループは総力をあげて 「SYSKENチャレンジ50」の経営戦略のもと、積極的な 営業活動を展開するとともに経営の効率化を推進してまい りました。

以上の結果、当連結会計年度の受注高は312億3千6百万 円 (前期比103.3%)、売 L 高は302億4千4百万円 (前期 比99.8%)となりました。

また、経営利益は14億8千8百万円(前期比96.1%)、 当期純利益は7億9千9百万円(前期比84.0%)となり ました。

◆当社グループの中長期的な経営戦略及び対処すべき課題

当社グループは、現在の事業環境及び最新の情報に基づ き最善の経営方針を立案するように努めておりますが、当 社グループのコア事業となる情報通信分野においては、IP 化に伴う固定と携帯の融合、更には通信と放送の融合等構 造的変化が進み、次世代ネットワーク (NGN) の構想と 相俟って、通信事業者間の競争は益々熾烈なものになると 考えられます。

このような環境のなか、情報通信インフラ整備工事を主 たる事業とする当社グループはいかにして「品質|「稼動| 「技術 | 「価格 | 面で多様化するお客様の信頼に応えていく かが重要な課題であると認識しております。

当社グループは事業の戦略として従来からの電話系サー ビスは勿論のこと、ブロードバンド市場における光サービ スの拡大化に伴う工事体制の拡充、IP系ネットワークサー ビス等トータルソリューション体制の強化に取り組んでま いります。

方針としましては

- 1 高度化、多様化するお客様のニーズに対するサービ スと品質の向上
- ② 急増する光需要に対応する稼動体制の充実
- ③ お客様信頼確保のための情報セキュリティの充実
- ④ 安全施策の充実と定着
- ⑤ 団塊の世代大量退職に備え、技術の継承体制の確立
- ⑥ 新規事業の開発と拡大

を当社グループの課題とし、最大限の努力を傾けることで、 当社グループの優位性と競争力を強めていく所存でありま す。

当期の受注高等

■当社グループの当期の受注高・売上高・繰越高

(単位:百万円)

区分	前期繰越高	当期受注高	当期売上高	次期繰越高
所外系設備工事	6,436	16,155	15,913	6,678
所内系設備工事	221	604	737	88
その他の建設工事	1,524	9,747	8,877	2,394
商品売上	18	4,728	4,715	31
合 計	8,201	31,236	30,244	9,192

売上高構成比 2.4% 52.6% 29.4% 15.6% ■ 所外系設備工事 ■ 所内系設備工事 ■ その他の建設工事 ■ 商品売上

■当社の当期の受注高・完成工事高・繰越高

(単位:百万円)

区分	前期繰越高	当期受注高	当期完成工事高	次期繰越高
所外系設備工事	6,436	16,155	15,913	6,678
所内系設備工事	221	604	737	88
その他の建設工事	1,333	9,181	8,396	2,119
商品売上	_	1,019	1,019	_
合 計	7,992	26,961	26,067	8,886

株式の状況(平成19年3月31日現在)

■ 発行可能株式総数

48,400,000株

■ 発行済株式の総数

13,100,000株

当事業年度末の株主数

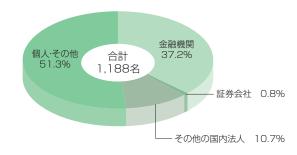
1,188名

■大株主

	当社への	出資状況
株主名	持株数 (千株)	出資比率
第一生命保険相互会社	981	7.92
西日本システム建設従業員持株会	980	7.91
日本生命保険相互会社	905	7.30
株式会社肥後銀行	600	4.84
みずほ信託銀行株式会社	435	3.51
住友生命保険相互会社	403	3.25
西部電気工業株式会社	281	2.26
株式会社りそな銀行	259	2.09
石 兼 雅 之	221	1.78
東京海上日動火災保険株式会社	220	1.77

(注) 出資比率は自己株式(717,896株)を控除して計算しております。

◆所有者別株主数分布状況



◆地域別株式数分布状況

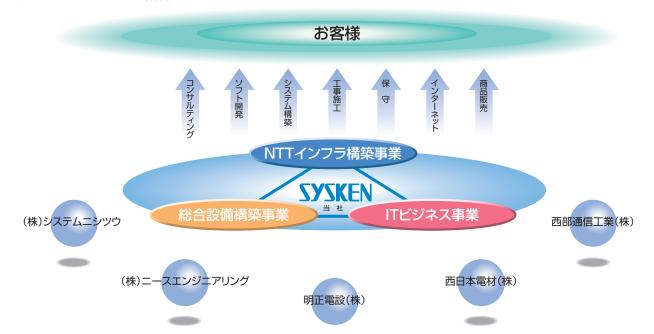


企業結合の状況

◆連結子会社の状況

会 社 名	資 本 金	出資比率	主要な事業内容
西日本電材株式会社	40百万円	100%	電気通信材料・工具の販売並びに 通信機器リース
株式会社システムニシツウ	40百万円	100%	システムの導入コンサル、開発
明正電設株式会社	25百万円	100%	電気通信工事の施工

◆シスケングループの概況



連結財務諸表(要旨)

◆連結貸借対照表

(単位:百万円)

◆ 連結員借对照表							
期 別	当期 (平成19年3月31日現在)	前 期 (平成18年3月31日現在)					
(資産の部)							
流 動 資 産	11,488	11,194					
固定資産	8,153	8,422					
有 形 固 定 資 産	3,131	3,283					
無形固定資産	330	170					
投資その他の資産	4,691	4,968					
資 産 合 計	19,642	19,616					

		(羊位・白/川)/
期 別 科 目	当期 (平成19年3月31日現在)	前期 (平成18年3月31日現在)
(負債の部)		
流 動 負 債	9,238	9,398
固 定 負 債_	2,705	3,089
負 債 合 計	11,943	12,487
(資本の部)		
資 本 金	_	801
資本 剰余金	_	560
利 益 剰 余 金	_	5,228
株式等評価差額金	_	693
自 己 株 式_	_	△154
資 本 合 計	_	7,128
負債・資本合計	_	19,616
(純資産の部)		
株 主 資 本	7,126	_
資 本 金	801	_
資本剰余金	560	=
利 益 剰 余 金	5,923	=
自己株式	△157	_
評 価 ・ 換 算 差 額 等	572	_
その他有価証券評価差額金	572	
純 資 産 合 計	7,698	-
負債純資産合計	19,642	_

●連結損益計算書

(単位:百万円)

<u> </u>								
科目	 ∃			期	別	当 期 (平成18年4月1日~平成19年3月31日)	前 期 (平成17年4月1日~平成18年3月31日)	
-	売		上	高		30,244	30,311	
3	売	上	原	価		26,939	26,816	
5	売	上	総利	益		3,305	3,494	
Ę	販 売	費及で	び 一 般 管	理 費		2,029	2,156	
1	営	業	利	益		1,276	1,338	
į.	営	業	外 収	益		249	318	
ri E	営	業	外 費	用		37	107	
á	経	常	利	益		1,488	1,549	
4	特	別	利	益		27	57	
4	特	別	損	失		139	106	
7	税 金	等調整	前 当 期 紅	到 益		1,376	1,500	
3	法 人	税、住	民税及び	事 業 税		318	495	
5	法	人 税	等 調	整額		258	53	
3	当	期	純 利	益		799	951	

◆連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

期 別科 目	当期 (平成18年4月1日~平成19年3月31日)	前 期 (平成17年4月1日~平成18年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	322	680
投資活動によるキャッシュ・フロー	△400	△305
財務活動によるキャッシュ・フロー	301	△401
現金及び現金同等物に係る換算差額	12	5
現 金 及 び 現 金 同 等 物 の 増 減 額	235	△20
現金及び現金同等物の期首残高	518	538
現 金 及 び 現 金 同 等 物 の 期 末 残 高	753	518

◆連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)

(単位:百万円)

		株主資本					評価・換		
		資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	純資産合計
平月	成18年3月31日残高	801	560	5,228	△154	6,435	693	693	7,128
連	剰余金の配当(注)			△99		△99			△99
桁 会	役員賞与(注)			△6		△6			△6
計年	当 期 純 利 益			799		799			799
連結会計年度中	自己株式の取得				△3	△3			△3
-の変動額	株 主 資 本 以 外 の 項 目 の 連結会計年度中の変動額(純額)						△121	△121	△121
額	合 計	_	_	694	△3	690	△121	△121	569
平成19年3月31日残高		801	560	5,923	△157	7,126	572	572	7,698

(注) 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

個別財務諸表(要旨)

◆貸借対照表

(単位:百万円)

▼貝信刈照衣							
期 別科 目	当期 (平成19年3月31日現在)	前期 (平成18年3月31日現在)					
(資産の部)							
流動資産	9,462	9,534					
固定資産	6,878	7,117					
有 形 固 定 資 産	2,722	2,826					
無形固定資産	352	160					
投資その他の資産	3,804	4,130					
資 産 合 計	16,340	16,652					

		(+12 - 1771)
期 別	当期 (平成19年3月31日現在)	前期 (平成18年3月31日現在)
(負債の部)		
流 動 負 債	7,916	8,274
固定負債	2,424	2,858
負債合計	10,340	11,132
(資本の部)	10,010	11,102
資本の品が金	_	801
資本剰余金	_	560
利益剰余金	_	3,651
株 式 等 評 価 差 額 金	_	660
自己株式	_	△152
資 本 合 計	_	5,519
負債・資本合計	_	16,652
(純資産の部)		
株 主 資 本	5,443	=
資 本 金	801	_
資本剰余金	560	_
利益剰余金	4,238	_
自己株式	△156	=
評価・換算差額等	556	=
その他有価証券評価差額金	556	_
純 資 産 合 計	5,999	_
負債純資産合計	16,340	=

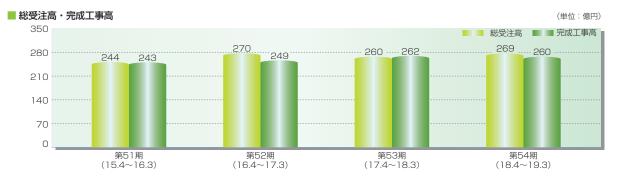
●指益計算書

(単位:百万円)

◆預益計算書			(単位:百万円)
科目	期別	当 期 (平成18年4月1日~平成19年3月31日)	前 期 (平成17年4月1日~平成18年3月31日)
完成 工事原 完成 工事原 完成 工事総利 販売費及び一般管理	高 価 益 費	26,067 23,451 2,615 1,501	26,259 23,490 2,768 1,641
営業 利 営業 外 収 営業 外 費 経 常 利	益 益 用 益	1,114 208 28 1,294	1,127 245 84 1,287
特 別 利 特 別 損 税 引 前 当 期 純 利	益 失 益	66 1,228	81 75 1,292
法人税、住民税及び事業 法人税 等調整 当期 純 利前期 繰 越 利	額 益 益	250 291 686 —	395 176 721 231
当期未见分利	益	_	953

財務ハイライト(個別)

◆業績の推移







財務ハイライト(個別)





◆株主資本等変動計算書

当事業年度(自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)

(単位:百万円)

		株主資本						評価・換算差額等						
			資本剰余金		利益剰余金							その他	=T: /TT 1/2.6/fr	6:t:200
		資本金	資本	資本 利益 剰余金 準備金	∓II 2 +	その他利益剰余金		利益自己株式	株主資本	有価証券	評価・換算	純資 産合計		
			準備金		準備金	固定資産 圧縮積立金	別途 積立金	繰越利益 剰余金	剰余金 合計	日山林八	合計	評価 差額金	差額等 合計	生口印
平月	成18年3月31日残高	801	560	560	200	47	2,450	953	3,651	△152	4,859	660	660	5,519
事	固定資産圧縮積立金の取崩(注)					△5		5	_		_			_
業	別途積立金の積立(注)						600	△600	_		_			_
年	剰余金の配当(注)							△99	△99		△99			△99
度	固定資産圧縮積立金の取崩					△4		4	_		_			_
中	当 期 純 利 益							686	686		686			686
の	自己株式の取得									△3	△3			△3
変 動	株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)											△104	△104	△104
額	合 計	_	_	_	_	△10	600	△1	587	△3	584	△104	△104	480
平月	成19年3月31日残高	801	560	560	200	37	3,050	951	4,238	△156	5,443	556	556	5,999

(注) 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

トピックス



【平成19年度は29名のフレッシュな社員がシスケンに誕生しました】



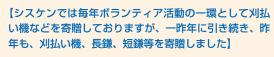


【シスケンでは春には「野焼き」、秋には「輪地切り」にボランティアとして毎年参加しています】





【香川県で開催された『2006技能五輪全国大会』に シスケンの社員が出場。初出場で見事、敢闘賞に入 賞しました】











【シスケンではクールビズ促進のため、夏の制服の軽装化を試行実施しております】

会社の概要(平成19年3月31日現在)

設 立 年 月 日 昭和29年9月10日

- · · · · ·	71,1120,1073.01					
発行可能株式総数	48,400,000株					
発行済株式の総数	13,100,000株					
資 本 金	801,000,000円					
事 業 内 容	●電気通信設備・設計・施工・保守・コンサルタント					
	●ネットワークソリューション事業					
	●グループウェア、各種システム開発					
	●LAN、WANイントラネット構築					
	●情報通信(PBX、OA)工事、メンテナンス					
	●各種通信機器、OA機器販売					
	●インターネットプロバイダー					
	●OCN代理店、NTTDoCoMo代理店					
上場証券取引所	大阪証券取引所市場第二部					
	福岡証券取引所					
本 店	〒862-0976					
	熊本市九品寺三丁目15番7号					
	電話 (096)-372-1111 (代表)					
支 社	福岡、熊本、鹿児島、東京					
支 店	北九州、長崎、佐賀、大分、宮崎、					
	関西、沖縄					
従 業 員 数	615名(平成19年6月28日現在)					
U R L	http://www.sysken.co.jp/					

役 員 (平成19年6月28日現在)

弋表取締役社長	赤星	敦
常務取締役	柴 野	泰
常務取締役	挾 間	規
取 締 役	太田	文 則
取 締 役	松本	和 孝
取 締 役	森	豊康
取 締 役	板 井	次 男
取 締 役	荒井	篤 實
常勤監査役	下 河	國 重
常勤監査役	香 山	郁 夫
盖 査 役	福田	稠

主要な事業所

本社本館	熊本市九品寺3-15-7	関西支店	大阪市中央区石町 1-1-1 天満橋千代田ビル2号館7F
本社別館	熊本市九品寺2-6-37	沖縄支店	那覇市大道78-7
福岡支社	福岡市南区大楠1-5-2	福岡アクセスセンタ	福岡市早良区次郎丸6-11-46
熊本支社	合志市幾久富建山1909-39	長崎アクセスセンタ	長崎県西彼杵郡長与町高田郷大平1769-8
鹿児島支社	鹿児島市谷山港1-4-7	伊万里アクセスセンタ	伊万里市立花町南ヶ丘2-3-15
東京支社	東京都中央区銀座1-14-9 銀座スワロービル6F	熊本アクセスセンタ	合志市幾久富建山1909-39
北九州営業支店	北九州市小倉北区東篠崎1-5-1 NTT小倉南ビル3F	別府アクセスセンタ	別府市馬場3組-3
長崎営業支店	西彼杵郡長与町高田郷岡崎3464	中津アクセスセンタ	中津市上如水字沖の坪1781
佐賀営業支店	佐賀市日の出1-15-11	延岡アクセスセンタ	延岡市土々呂町6-1674
大分営業支店	大分市田室町8-35	鹿児島アクセスセンタ	鹿児島市谷山港1-4-7
宮崎営業支店	宮崎市日の出町35	鹿屋アクセスセンタ	鹿屋市高須町3232-1

